

# コンベンションぬまづ及びキラメッセぬまづの指定管理業務評価結果について

令和3年3月8日

静岡県スポーツ・文化観光部観光政策課  
沼津市産業振興部観光戦略課

## 1 評価の趣旨

静岡県及び沼津市では、指定管理者制度を導入した静岡県会議場施設「コンベンションぬまづ」及び沼津市多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」における指定管理者の管理運営状況について、学識経験者やコンベンション業界及びMICE誘致に関し識見を有する者等からなるプラサヴェルデ評価懇話会委員による第三者の視点から評価を実施した。

令和元年度事業の評価結果については以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

## 2 指定管理

### (1) 指定管理者

プラサヴェルデ運営共同事業体

代表団体 株式会社コンベンションリンクージ

構成団体 株式会社サン

構成団体 鹿島建物総合管理株式会社

### (2) 指定期間

平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）

## 3 評価項目

### (1) 企画・提案に関する実績評価

- ① 基本要件
- ② 平等利用の確保とサービス向上
- ③ 安定的で効率的な経営管理
- ④ 施設の効用を最大限発揮するための営業
- ⑤ 地域貢献

### (2) 管理運営状況に係る実績評価

- ① 施設の管理運営指標の達成度
- ② 管理・運營業務
- ③ 維持管理業務

## 4 プラサヴェルデ評価懇話会委員

氏名	職業・団体等	備考
中山 勝	一般財団法人企業経営研究所 理事長	座長
宍戸 学	日本大学国際関係学部国際総合政策学科 教授	
東條 秀彦	大阪ウェディング&ホテル・IR 専門学校 MICE ビジネス概論 講師	
鈴木 素子	鈴木素子税理士事務所 所長税理士	
杉山 朋子	株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社東部総局東部ビジネスセンター事業部長	
委員数 5名		

## 5 評価結果

### (1) 項目別評価

	評価項目	評価	講 評
(1) 企画・提案に関する実績評価	①基本要件	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の設置目的を実現するため、誘致ターゲットを明確化する必要がある。また、今後の自主事業の開催に期待する。</li> <li>・経済効果を県東部地域全体へ享受する仕組みとして、地元MICE 関連事業者との連携体制を構築し、強化する必要がある。</li> </ul>
	②平等利用の確保とサービス向上	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の満足度向上においては、前指定管理者との引継ぎ等に要した年度前半のサービス低下は否めない。</li> <li>・定量的評価と分析改善の仕組みづくりが必要。</li> </ul>
	③安定的で効率的な経営管理	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理部門の人材育成に加え、MICE 誘致のエキスパートの教育も必要。</li> <li>・効率的かつ効果的な経費削減が来ていることは、評価できる。</li> </ul>
	④施設の効用を最大限発揮するための営業	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE の誘致においては、プラサヴェルデの STP（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）の理解及び再認識が必要。また、代表団体の本社と連携した実績づくりに期待する。</li> <li>・各種誘致においては、具体的な方法論や手法の検討が必要。</li> <li>・自主事業等による施設の活用については、指定管理者選定時の提案内容を実施するようお願いする。</li> </ul>
	⑤地域貢献	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表団体の強みを活かした近隣施設との連携に期待する。</li> <li>・コンベンションの企画、運営においては、地域の関係団体等が参画できるよう、産官学連携による運営委員会の早期設立を望む。</li> <li>・地域経済の振興及び活性化においては、施設を有効活用した賑わい創出に期待する。また、県、市、商工会議所、青年会議所、コンベンションビューローなど、地域団体との関係構築の充実化も必要。</li> </ul>

	評価項目	評価	講 評
(2) 管理運営	①施設の管理運営指標の達成度	2.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数及び施設稼働率が数値目標を達成できるよう期待する。</li> <li>・年間のイベント件数については、高水準を維持しており、評価できる。</li> </ul>

状況に係る実績評価	②管理・運営業務	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支改善の努力として、光熱水費の経費削減は、評価できる。</li> <li>・適正な組織体制及びスタッフ配置については、人材を育成し、今後の貢献に期待する。</li> <li>・適正な経理に努めていただきたい。</li> </ul>
	③維持管理業務	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物や設備機器の安全管理及び保守管理については、引き続き、適正に実施するようお願いする。</li> </ul>

(2) 総括

項目	評価	講評
総括	2.8	令和元年度指定管理業務における実績は、「おおむね実施した」と判断する。

参考

評価点	評価基準
4.5～5.0	大変よく実施した
3.5～4.4	よく実施した
2.5～3.4	おおむね実施した
1.5～2.4	不十分な実施だった
1.0～1.4	実施しなかった